

製品名: チミジンキナーゼウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18900**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	TK1
別名	TK1; Thymidine kinase; cytosolic
遺伝子 ID	7083.0
SwissProt ID	P04183
免疫原	抗血清はヒト TK 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 1-50

背景

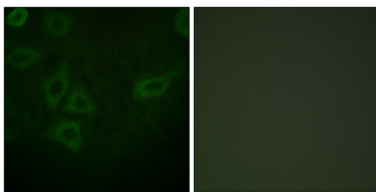
触媒活性: ATP + チミジン = ADP + チミジン 5'-リン酸。、その他:動物細胞では2つの形態が同定されており、1つは細胞質に、もう1つはミトコンドリアに存在します。細胞質酵素の活性は増殖細胞で高く、細胞周期のS期にピークに達します。休止細胞では非常に

低くなります。、PTM:有糸分裂中に Ser-13 がリン酸化されます。、類似性:チミジンキナーゼファミリーに属します。、触媒活性:ATP + チミジン = ADP + チミジン 5'-リン酸。、その他:動物細胞では 2 つの形態が同定されており、1 つは細胞質に、もう 1 つはミトコンドリアに存在します。細胞質酵素の活性は増殖細胞で高く、細胞周期の S 期にピークに達します。休止細胞では非常に低い。、PTM:有糸分裂中に Ser-13 がリン酸化される。、類似性:チミジンキナーゼファミリーに属する。、

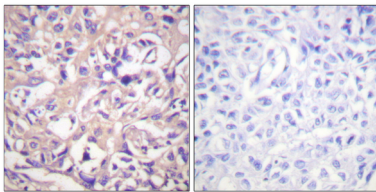
研究分野

ピリミジン代謝;薬物代謝;

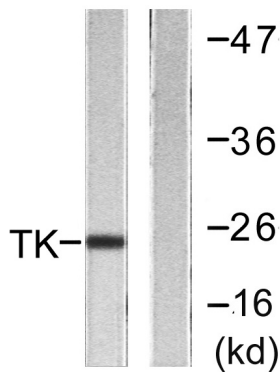
画像データ



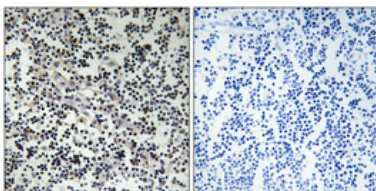
TK 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



TK 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



COLO205 細胞ライセートの TK 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。